

学 習 指 導 案

〇〇〇〇 高等学校  
国語科 〇〇 〇〇

科目名	言語文化	実施日時	令和6年12月6日（金）4校時	使用教室	〇〇教室
実施クラス	1年E組31名	所見	古典では漢文の方が好きな理数科。賑やかで議論が活発なクラス。		
教材	教科書、ワークシート				
単元	複数の作品を読み比べ、古典文学作品が「どのように」書かれているか考えよう			4時間中2時間目	
単元の標	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。〔知識及び技能〕(2)ウ (2) 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」				
単元の評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ)		「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方について評価している。(B(1)ウ)		複数の作品を読み比べ、批評したり討論したりすることを通して、文章の構成や展開、表現の仕方について粘り強く評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。
本時の標	筆者が伝えたいことをより効果的に伝えるために、どのように工夫しているのか、複数の文章と読み比べて考え、グループで検討して整理する。				
言語活動	複数の作品を読み比べ、文章の構成や展開、表現の仕方について、批評したり討論したりする。（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)イ）				
学習活動		指導上の留意点		評価の実際	
導入 (5分)	前時に説明した筆者の伝えたかったこと「ものあはれ」について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標の達成に向けて、ポイントとなる「ものあはれ」を確認する。</li> <li>・本時から最終的なゴールイメージを示す。</li> </ul>		学習活動の〈導入〉では、おもに生徒が授業の趣旨を理解しているかどうかを確認しながら授業を進めていく。 〈展開〉から〈まとめ〉にかけては、評価規準をもとに生徒の活動状況を観察しながら授業を進めていく。	
展開 (20分)	<b>個人活動</b> 1 「ものあはれ」な姿をより強調するために筆者が「どのように」書いたのか、「筒井筒」と「月やあらぬ」と比較して考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どのように」という表現は使わず、生徒へは「工夫」という表現でわかりやすく伝える。</li> <li>・7分経過後、ワークシートの挿絵がヒントになることを伝える。</li> <li>・現時点で考えたことをワークシートへまとめさせておく。</li> </ul> ○文章を比較して検討する際は「共通点」「異なる点」へ注目するよう助言する。		<b>【評価方法】行動の観察</b>  <b>【評価Cの生徒への指導の手立て】</b> ○個人で考える際に行き詰っている生徒へは、ヒントの利用、2つの文章の共通点から思考してみるよう指示する。  ○協議がなかなか進まないグループには、個人活動でヒントとした部分に注目するよう指示する。	
(20分)	<b>グループ活動</b> 2 グループで検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較した文章を選んだ生徒が半々、または全員になるようにグループを構成する。</li> <li>・ワールドカフェ方式で他者の考えを聞ける時間も設ける。</li> </ul> ○協議に際し最終的に「グループで資料を作ってプレゼンする」ことを念頭に置いて進めさせる。			
まとめ (5分)	現時点でのグループで検討したこと、自身が考えたことの変遷を振り返る。  次回の授業内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考えたことがグループ活動を通じてどう変化したか、グループでどういった方向性で進んでいるのかをGoogleスプレッドシートにまとめるように促す。</li> </ul> 次回は発表の準備をすることを伝える。		<b>【評価方法】行動の観察</b> 本次の評価は、指導に生かす評価とする。	